

核物質防護に関する不適合情報

2024年4月9日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、施工時に雨水が侵入したことによる設備面の不具合と推定されたことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/11/25	
2	刃物類を持ち込む際の必要書類は、複写できない専用紙で提出する運用であったが、協力企業から提出された書類について、周辺防護区域での委託警備員による点検では専用紙でないことに気付かなかったが、防護区域境界での別の委託警備員による点検ではそれを発見し、入域を制止した。 調査の結果、当該書類の確認手順が明確でなかったこと、および書類を提出した協力企業作業員は専用紙の運用を認識していなかったことを確認した。 対策として、書類確認手順を明確化し手順書に反映の上、関係者に周知するとともに、複写できない専用紙での運用を当該協力企業に周知した。	2024/3/5	

4. 公表区分その他 4件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/9/1	
2	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該検知器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/2/6	
3	核物質防護上の扉における付属機器の一部に破損を確認したことから、当該破損箇所を修理し正常な状態に復旧した。 障壁機能は維持。 調査の結果、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2024/2/21	
4	発電所構外の店舗より、入構証を拾得したとの連絡があり、協力企業作業員が当該入構証を紛失していたことを確認した。 調査の結果、入構証の取り扱いルールが厳密には守られていなかったことから、当該作業員および関係者へ入構証の取り扱いルールについて再教育を行った。 なお、入構証は当該作業員に返却され、不正使用も確認されなかった。	2024/3/19	